常磐東小学校　校長だより

常なる磐

つねなる　いわ　seasonⅢ
令和　５年　３月 10 日(金)
その３　通算 315 号

◇ 学校文集「ひがしの子」　第 49 集

学校文集「ひがしの子」第四九集の発刊にあたって

校長　近藤　善紀

学校文集「ひがしの子」は、本巻で四九集。継続した取組は、実に半世紀に渡る。もはや、本校の大きな特色の一つと言えよう。文集作成に係る労力や手間、費用等の観点から、文集自体が学校教育から姿を消す傾向が強い中、令和の現代で残っている事例は少ない。それでも学校文集として受け継がれているのは、思いを文字に綴る作文の教育的価値や生涯的な教育効果を教師が認識しているからである。

二年前、職員の労力削減を鑑みた学校文集の抜本的改革を提案したところ、担任教師の総意で「現行の維持継続」をお願いされたことがある。「子供たちのために」と労を顧みず力を注ぐ教師たち。常磐東小に勤める教師の思いは、五十年前も、今も変わらない。

区切りの五十年を目前にした今、「文集の価値」を改めて考えてみた。

思い出としての記憶は、時の経過とともに薄れていくものだが、文字として、冊子として綴られた文集は、手放さない限り手元にしっかりと残る。さらに文集を紐解けば、薄れかけた記憶を呼び覚ますこともできる。そして、文集を読み返した時、そこにあるのは、教室の学習机で「作文に向き合った頃の手書き文字」だ。

「その時、何を感じ、何を思い、どう行動したか」。

手書き文字の余白や行間に、当時の背景や環境、友や教師との温かな関わり、父母をはじめとする家族の寄り添いや愛情を透かし見て、思い出を懐かしむことができよう。加えて、写真とは一味違う想い出の一片が、前に進む勇気を与えてくれるに違いない。「過去の自分から、今の自分への贈り物」という点が味わい深い。一般的に見れば、文集にはこうした価値がある。

ところが本校の場合は、これらに付加価値要素が追加される。それは、本校の文集が学級や学年のくくりではなく、「学校文集」であることにある。つまり、一冊の文集に全児童の思いがぎゅっと集約されている。

この点こそ本校の文集の最大の特徴であり、最も素敵な価値があるところなのだ。

「ひがしの子」四九集の発刊に際し、児童たちに、特に卒業を間近に控えた六年生にお願いしたいことがある。

真新しい文集を受け取った今こそ、全ての作文に目を通してもらいたい。そして、六年間、ともに過ごした仲間が、そして、ともに活動した後輩たちが、「どんなことを思い、どんなことを考え、どんな気持ちで行動してきた」のか、文章から、文字から、行間から、余白から、自分なりに場面を思い描いてもらいたい。そして、それぞれの気持ちを感じ取ってもらいたい。

すると、続けて気付き、明確に見えることがある。

「友達や家族が、いかに自分にとって大切な存在であるか。家庭や学校が、いかに温かく自分を支えてくれているか。そして、生きる今が、いかに幸せであるか」

ここに、本校の学校文集が半世紀にわたって続けられている真の理由がある。

令和4年度

常磐東小学校　学校文集

ひがしの子 第49集

＜表紙 6年生版画作品＞

左上: **長谷川舞依** さん
「伝統を伝える」

右上: **樋口　絆** さん
「ドッヂボール 剛速球」

右下: **中根　寛治** さん
「全力疾走 爆速君」

左下: **山本　夏鈴** さん
「書き初め大会」

あとがき

二〇二二年の流行語大賞（りゅうこうごたいしょう）は「村神様（むらかみさま）」。これは、最年少の三冠王に輝き、日本人の最多ホームラン記録を更新したプロ野球の村上宗隆選手の活躍を表した言葉です。また、「ブラボー」や「三苫の一ミリ」は、サッカーワールドカップにおいて、スペインやドイツから歴史的な勝利を勝ち取った日本人選手の素晴らしい活躍を表現しています。

さて、みなさんが今年の常磐東小学校を言葉で表すとしたら、どのような言葉を選びますか。先生は「すすんで鍛える身と心」だと思います。今年はロング放課が始まり、思う存分（ぞんぶん）遊びを楽しむことができるようになりました。全校児童が学年に関係なく、積極的におにごっこやフットベース、サッカーなどをして楽しそうに遊んでいました。その成果でしょうか、小学校陸上大会では多くの選手が好成績を収め、マラソン大会（かせんきょうい）では新記録がたくさん生まれました。また、「河川教育」が本格的にスタートした今年は、水質調査や河川美化活動、生物調査や全校校外学習などを通して、自分たちの身近な環境である青木川を自ら大切に守っていこうという大切な思いを抱くことができました。

本文集「ひがしの子」には、皆さんの一年の頑張りや輝きが言葉として綴（つづ）られています。自分の宝物として、いつまでも大切に保管し、時には読み返し、頑張りや輝きを確認してみてください。

教頭　伊奈　良晃